

2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月13日

上場会社名	コムシード株式会社	上場取引所 名
コード番号	3739 URL https://www.commseed.net/	
代表者	(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 塚原 謙次	
問合せ先責任者	(役職名) 経営管理部長 (氏名) 大久保 泰夫	T E L 03-5289-3111
定時株主総会開催予定日	2022年6月23日	配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日	2022年6月24日	
決算補足説明資料作成の有無	: 有	
決算説明会開催の有無	: 無	

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	1,915	-	92	-	75	-	83	-
2021年3月期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2022年3月期 92百万円 (-%) 2021年3月期 一百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	6.40	6.40	9.8	6.1	4.8
2021年3月期	-	-	-	-	-

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 △8百万円 2021年3月期 一百万円

(注) 2022年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期の数値及び対前期増減率については記載しておりません。また、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	1,235	861	69.0	64.99
2021年3月期	-	-	-	-

(参考) 自己資本 2022年3月期 852百万円 2021年3月期 一百万円

(注) 2022年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期の数値は記載しておりません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	279	△132	△30	670
2021年3月期	-	-	-	-

(注) 2022年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2023年3月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

2023年3月期の業績予想については、現時点で合理的な算出が困難なため、記載しておりません。詳細については添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご確認ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社（社名）CommSeed Korea Co., Ltd.（韓国）、株式会社アイビープログレス、除外 1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2022年3月期	13,118,116株	2021年3月期	13,112,716株
2022年3月期	148株	2021年3月期	148株
2022年3月期	13,115,552株	2021年3月期	11,969,593株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	1,924	34.5	124	—	111	—	112	—
2021年3月期	1,430	22.1	△159	—	△169	—	△414	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	8.57	8.57
2021年3月期	△34.63	—

(注) 2021年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	1,248	873	69.9	66.55
2021年3月期	1,097	760	69.0	57.73

(参考) 自己資本 2022年3月期 873百万円 2021年3月期 756百万円

2. 2023年3月期の個別業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

2023年3月期の業績予想については、現時点で合理的な算出が困難なため、記載しておりません。詳細については添付資料P3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご確認ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は2022年5月13日（金）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度より、子会社のCommSeed Korea Co., Ltd. (韓国) の重要性が増したため、また、株式会社アイビープログラムの株式を全株取得し子会社化したことにもない連結の範囲に含めております。このため、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しておりますので、前期との比較分析は行っておりません。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響により、引き続き厳しい局面が続いており、ワクチンの普及などの影響により、回復傾向を見せつつも、新たな変異株の流行や世界情勢の急激な変化、原材料費の高騰など、依然として不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの事業領域であるモバイルコンテンツビジネスの領域は、コロナ禍でも需要は衰えず、新たなビジネスが続々と誕生し、目覚ましい広がりを見せております。

このような状況下で、当社グループは既存事業を維持しつつ、当社グループの次の柱となる新たな事業の準備を進めてまいりました。

当連結会計年度の売上高に関しては、主力事業であるバーチャルホール「グリパチ」をはじめとするソーシャルゲーム領域が堅調に推移し、単体で過去最高を記録いたしました。

利益面では、引き続き売上原価と販管費抑制によるコスト削減に努め、営業損益、経常損益、最終損益ともに黒字を達成いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高が1,915,036千円、営業利益は92,301千円、経常利益は75,004千円、親会社に帰属する当期純利益は83,962千円となりました。

なお、当社グループはモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

- ① ソーシャルゲームについては、主力サービスのバーチャルホール「グリパチ」が前会計年度に引き続き堅調に推移いたしました。定期的な新アプリの投入やYouTube生放送と連動したイベントなど、各種施策が功を奏し、リリースから10年を経てなお、多くのお客様にご利用いただいております、会員数は570万人を突破しております。
- ② 従量制アプリについては、年間を通して3本の有力タイトルをリリースし、過去のゲームアプリに関しても定期的にセールを実施するなど、全体として堅調に推移しました。
- ③ 受託開発および運營業務に関しては、ストック型案件、フロー型案件がともに堅調に推移しております。
- ④ その他新規事業につきましては、2022年中の開始を目指し、韓国子会社CommSeed Korea Co., Ltd. との連携した日韓合同チームでソーシャルカジノプロジェクトの開発を進行いたしました。一方、業容拡大に伴う開発力のさらなる強化を目的とし、株式会社アイビープログラムの全株式を取得し、完全子会社化いたしました。また、韓国FSN社との戦略的提携を皮切りに、P2Eゲームをはじめとするブロックチェーン関連事業に参入しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当連結会計年度末における資産は1,235,500千円となりました。

流動資産は942,082千円となり、主な内訳は現金及び預金690,756千円、売掛金220,166千円であります。

固定資産は293,417千円となり、主な内訳はソフトウェア36,200千円、ソフトウェア仮勘定82,454千円、投資有価証券30,600千円、関係会社社債59,800千円、差入保証金30,677千円であります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は373,861千円となりました。

流動負債は305,015千円となり、主な内訳は買掛金92,436千円、未払消費税等45,825千円、契約負債41,038千円であります。

固定負債は68,845千円となり、主な内訳は長期借入金40,500千円であります。

(純資産)

連結会計年度末における純資産は861,638千円となりました。

主な内訳は資本金1,136,699千円、資本準備金567,808千円と利益剰余金△859,931千円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は670,756千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は279,477千円となりました。

主な内訳は、税金等調整前当期純利益74,946千円、減価償却費28,533千円、貸倒引当金の増加22,982千円、売上債権の減少34,858千円、前払費用の減少48,381千円、未払費用の増加41,666千円、その他流動負債の増加50,780千円を要因とした資金増加と、仕入債務の減少44,906千円を要因とした資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は132,775千円となりました。

主な内訳は、無形固定資産の取得による支出106,038千円と連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出19,176千円を要因とした資金減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は30,342千円となりました。

主な内訳は、長期借入金の返済による支出30,348千円を要因とした資金減少によるものです。

(4) 今後の見通し

当社グループは、主力事業であるソーシャルゲーム「グリパチ」に加え、ゲームパブリッシング事業や安定した収益が見込める受託事業を軸に収益基盤を維持してまいります。そのうえで、当社グループが中長期的な成長を目指すには、「グリパチ」に続くコアタイトルの育成と収益源の多様化が重要となるため、新規タイトルの育成及び新規事業領域への挑戦等、新たな事業開拓を継続し、引き続き事業拡大を目指してまいります。

そうしたなかCommSeed Korea Co., Ltdとの連携によるソーシャルカジノ開発、さらに株式会社アイビープロダクトを子会社化し、開発人員の増強による利益率の向上及び、受託開発の強化を図りました。また、2022年4月にはNFT及びGameFi事業を推進していく株式会社HashLinkを設立しました。

2023年3月期の通期連結及び個別業績の予想につきましては、売上高は既存事業が堅調に推移することを見込んでおりますが、利益面においてソーシャルカジノ開発に関する費用が先行投資的に増加することも見込まれることや、当社グループを取り巻く事業環境が短期的な変化が激しいことに加え、著作権を持つ取引先の状況や、パチンコ・パチスロ系スマートフォンアプリに関する実機の許認可の状況に左右される場合があり、当社グループの業績も短期的に大きく変動することも想定されます。なお、現在新型コロナウイルス感染症の収束時期を予想することは困難ではあるものの、当グループに重要な影響を与える可能性は低いものと認識しております。

以上から、2023年3月期の通期業績の予想につきまして、現時点で合理的な算出は困難であるため、業績予想の開示を見合わせることにいたしました。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	690,756
受取手形	17,800
売掛金	220,166
棚卸資産	6,184
前払費用	22,948
その他	6,612
貸倒引当金	△22,386
流動資産合計	942,082
固定資産	
有形固定資産	
建物	17,592
減価償却累計額	△15,473
建物（純額）	2,118
工具、器具及び備品	38,916
減価償却累計額	△32,755
工具、器具及び備品（純額）	6,160
有形固定資産合計	8,279
無形固定資産	
ソフトウェア	36,200
ソフトウェア仮勘定	82,454
のれん	16,923
その他	685
無形固定資産合計	136,263
投資その他の資産	
投資有価証券	30,600
関係会社債	59,800
長期貸付金	48,938
繰延税金資産	24,588
差入保証金	30,677
その他	3,012
貸倒引当金	△48,742
投資その他の資産合計	148,873
固定資産合計	293,417
資産合計	1,235,500

(単位：千円)

当連結会計年度 (2022年3月31日)	
負債の部	
流動負債	
買掛金	92,436
1年内返済予定の長期借入金	30,348
未払法人税等	24,828
未払消費税等	45,825
契約負債	41,038
賞与引当金	1,373
その他	69,165
流動負債合計	305,015
固定負債	
長期借入金	40,500
役員退職慰労引当金	18,427
退職給付に係る負債	9,917
固定負債合計	68,845
負債合計	373,861
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,136,699
資本剰余金	567,808
利益剰余金	△859,931
自己株式	△53
株主資本合計	844,522
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	8,046
その他の包括利益累計額合計	8,046
新株予約権	9,070
純資産合計	861,638
負債純資産合計	1,235,500

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	1,915,036
売上原価	1,326,216
売上総利益	588,820
販売費及び一般管理費	496,518
営業利益	92,301
営業外収益	
受取利息	556
補助金収入	4,331
その他	33
営業外収益合計	4,920
営業外費用	
支払利息	847
持分法による投資損失	8,050
貸倒引当金繰入額	10,162
その他	3,157
営業外費用合計	22,217
経常利益	75,004
特別利益	
新株予約権戻入益	942
特別利益合計	942
特別損失	
投資有価証券評価損	1,000
特別損失合計	1,000
税金等調整前当期純利益	74,946
法人税、住民税及び事業税	15,572
法人税等調整額	△24,588
法人税等合計	△9,015
当期純利益	83,962
親会社株主に帰属する当期純利益	83,962

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	83,962
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	8,046
その他の包括利益合計	8,046
包括利益	92,008
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	92,008

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,134,917	566,026	△943,894	△53	756,995
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	1,782	1,782			3,564
親会社株主に帰属する当期純利益			83,962		83,962
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	1,782	1,782	83,962		87,526
当期末残高	1,136,699	567,808	△859,931	△53	844,522

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高			3,590	760,586
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)		—		3,564
親会社株主に帰属する当期純利益		—		83,962
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	8,046	8,046	5,480	13,526
当期変動額合計	8,046	8,046	5,480	101,052
当期末残高	8,046	8,046	9,070	861,638

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	74,946
減価償却費	28,533
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,505
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22,982
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△770
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,000
持分法による投資損益 (△は益)	8,050
株式報酬費用	9,980
新株予約権戻入益	△942
受取利息	△556
支払利息	847
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	5,805
売上債権の増減額 (△は増加)	34,858
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,188
仕入債務の増減額 (△は減少)	△44,906
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	5,056
前払費用の増減額 (△は増加)	48,381
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△2,992
未払費用の増減額 (△は減少)	41,666
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	50,780
その他	1,000
小計	282,038
利息の受取額	556
利息の支払額	△827
法人税等の支払額	△2,290
営業活動によるキャッシュ・フロー	279,477
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,019
無形固定資産の取得による支出	△106,038
貸付金の回収による収入	391
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△19,176
差入保証金の差入による支出	△5,932
投資活動によるキャッシュ・フロー	△132,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	
新株予約権の行使による株式の発行による収入	5
長期借入金の返済による支出	△30,348
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,342
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,366
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	119,725
現金及び現金同等物の期首残高	551,031
現金及び現金同等物の期末残高	670,756

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、モバイル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	64.99円
1株当たり当期純利益	6.40円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	6.40円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	1,235,500
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	9,070
(うち新株予約権 (千円))	(9,070)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	852,568
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	13,117,968

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	83,962
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	83,962
普通株式の期中平均株式数 (株)	13,115,552
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—
普通株式増加数 (株)	9,077
(うち新株予約権 (株))	(9,077)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—

（重要な後発事象）

（子会社の設立）

当社は、2022年4月19日開催の取締役会において、ブロックチェーン関連事業を管轄する子会社を設立することを決議いたしました。

1. 子会社設立の目的

インターネット関連の技術がWeb3.0と呼ばれる潮流にシフトしつつある現在、当社グループでも、ブロックチェーン関連のビジネスを国内外に向け早期展開すべく、業務提携などの動きを加速しております。このような中で、より迅速にNFT及びGameFi※事業を推進するために、同ジャンルに特化した子会社、株式会社HashLinkを設立することといたしました。

※「Game」と「Finance」からくる造語。ゲームに暗号資産等をからめたサービス。

2. 設立する子会社の概要

- | | |
|------------|--|
| (1) 商号 | 株式会社HashLink |
| (2) 代表者 | 代表取締役 金 永峻
代表取締役 李 正攝 |
| (3) 本店所在地 | 東京都千代田区神田駿河台三丁目2番地 |
| (4) 設立年月日 | 2022年4月22日 |
| (5) 主な事業内容 | NFT関連事業、GameFi関連事業、その他ブロックチェーン技術に関する事業 |
| (6) 決算期 | 12月31日 |
| (7) 資本金 | 10,000千円 |
| (8) 出資者 | コムシード株式会社（100%出資） |